道路清掃活動の実施報告

鶴巣地区大平下区で道路清掃活動を実施しました

令和８年６月１９日、新処分場の周辺環境整備の一環で、廃棄物搬入車両が通行する県道９号（大和松島線）の道路清掃活動を実施いたしました。
当日は、公社と県の職員、工事施工者である大林ＪＶと植木組から約３０名が参加し、新幹線高架との交差箇所から東西約３００ｍほどの歩道に溜まった砂やゴミの撤去の他、県道脇の緑地の除草を行いました。
公社といたしましては、引き続き新処分場周辺の環境保全にしっかりと取り組むとともに、これからも地区の皆様のより良い環境づくりに貢献してまいります。

新処分場周辺地域環境整備事業の実施状況について

事業名	着手前	施工状況	完了
西川堤防整正（鳥屋周辺）			
事業概要	堤防整正		
事業主体	仙台土木事務所		
事業期間	中期（令和5～9年度）		

【問合せ先】
担　当：（公財）宮城県環境事業公社　企画調整部
電　話：（０２２）３４３－２８７７　E-mail：miya-kan@aioros.ocn.ne.jp

令和８年１１月１日発行

新処分場ニュースVol.１０

～新最終処分場の進捗状況等について～

新処分場ニュースの第１０報では、6月に開催した新処分場現場見学会や浸出水調整槽の生コン打設工事、8月に開催した新処分場上下水道工事説明会、１０月に開催されたクリーンプラザみやぎでのイベントの他，処分場周辺地域環境整備事業の進捗状況等ついてお知らせします。

宮城県環境生活部新最終処分場整備対策室・公益財団法人宮城県環境事業公社

新産業廃棄物最終処分場現場見学会を開催しました

令和８年６月２１日(日）に鶴巣地区住民の希望者の方を対象とした新処分場の現場見学会を開催しました。当日は、大和町議会議員の方をはじめ、鶴巣地区の住民３８名にご参加いただきました。はじめに、新処分場建設工事の現場事務所内の会議室において、大林JVから工事概要の説明を行った後、新処分場に関する質疑応答を行いました。その後、建設工事現場で、廃棄物埋立地や浸出水調整槽などの工事状況を見学いただきました。

［参加住民皆様からの主な質問とそれに対する大林JVと公社の回答］

〇平日は新処分場の見学はできないのか。
(大林JV回答)平日は重機などが稼働しているため、安全面を考慮すると見学が難しい場合がありますが、事前に連絡をいただければ、見学いただける日かどうか検討いたします。

〇遮水シートは小鶴沢の処分場と同じ構造なのか。
(公社回答)小鶴沢ではベントナイト層と遮水シートの２層構造としていましたが、新処分場ではこれに加えて遮水シートと自己修復シートを設置し、より高い遮水性能を確保しています。小鶴沢においても法令を遵守して管理しており、これまで地下水汚染を確認したことは一度もありません。

〇今後太陽光パネルの処分量が増えるとのことだが、公社でも受け入れるのか。
(公社回答)今年５月に制定された太陽電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法律により、基本的にリサイクルされることになっており、公社でも太陽光パネルの受入は行っておりません。

工事概要説明

浸出水調整槽工事状況見学

埋立地工事状況見学

浸出水調整槽の生コン打設工事が行われました

令和８年６月２６日(金)から２８日(日)にかけて、コンクリート打継目からの漏水リスクを回避するため、浸出水調整槽①の底盤コンクリートの打設工事を行いました。作業は、事前に地域の皆様に説明した上で、約６０時間連続で実施し、生コンクリート車の通行台数は、昼間で約４０台、夜間で約２０台に及ぶ大規模な施工となりました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

生コン打設(夜間)

生コン打設作業状況

生コン打設工事終了

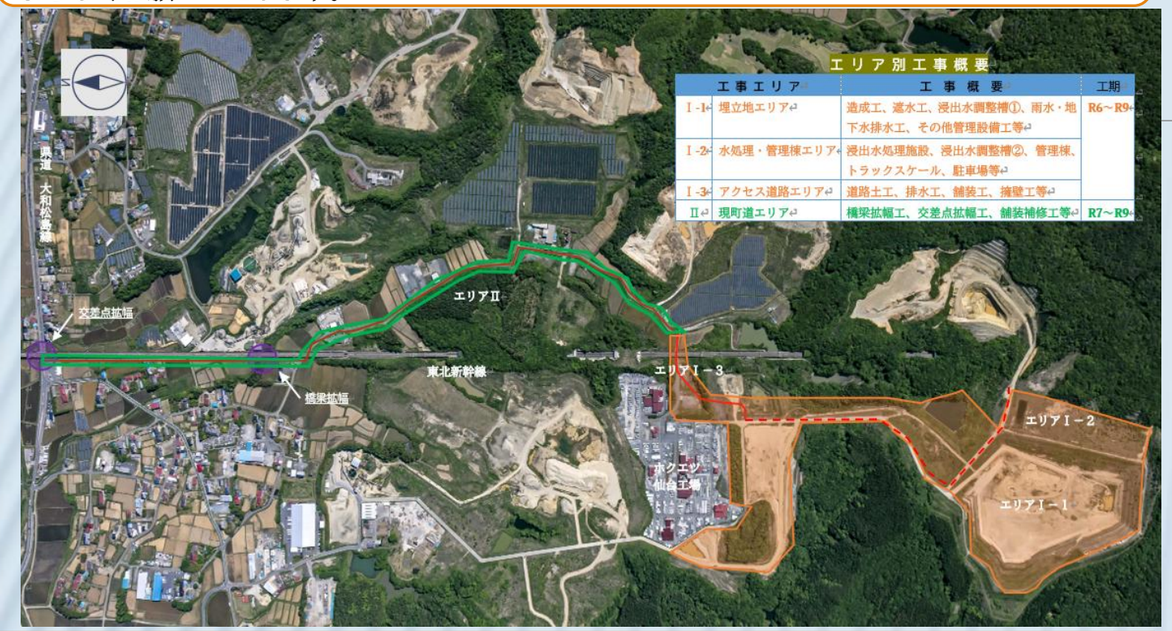
【問合せ先】
担　当：（公財）宮城県環境事業公社　企画調整部
電　話：（０２２）３４３－２８７７　E-mail：miya－kan@aioros.ocn.ne.jp

新産業廃棄物最終処分場上下水道工事について

新産業廃棄物最終処分場上下水道工事の概要

当面、廃棄物搬入道路となる予定の町道鷹巣線及び桧木沢線（下図の緑色区間）への上・下水道管（公社専用管）の敷設、狭隘部の鷹巣橋拡幅や県道大和松島線との交差点部拡幅の他、全線の舗装復旧等の工事を３月１８日に（株）植木組東北支店と工事契約しました。

事前に下記のとおり住民説明会を実施した上で、現在工事に着手しています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



エリア	工事概要	工期
Ⅰ-1 埋立地エリア	造成工、遮水工、浸出水調整槽①、雨水・地下水排水工、その他管理設備工等	R6～R9
Ⅰ-2 水処理・管理棟エリア	浸出水処理施設、浸出水調整槽②、管理棟、トラックスケール、駐車場等	
Ⅰ-3 アクセス道路エリア	道路土工、排水工、舗装工、擁壁工等	
Ⅱ 現町道エリア	橋梁拡幅工、交差点拡幅工、舗装補修工等	R7～R9

大平地区で上下水道工事の説明会を開催しました

工事着手に先立ち、令和８年８月２２日(土)に鶴巣大平中区、８月２９日(土）に鶴巣大平下区など工事区域周辺の住民の方を対象に工事説明会を施工業者である（株）植木組が開催しました。説明会には、両地区併せて３４名の方に参加いただきました。施工業者による新処分場上下水道工事の概要説明後、質疑応答を行いました。

[参加した皆様からの主な質問とそれに対する回答]

〇ファミリーマート付近は夜間作業になるのか。可能であれば、昼間に作業してほしい。

(回答)町道と県道が交わる箇所では、大型車の通行を確保しながらの昼間の作業が難しいため、夜間に作業を行わざるを得ません。片側通行等により対応可能な箇所については、できる限り昼間に作業を行います。

〇夜間工事を行う箇所は、日中は通行できるのか。

(回答)夜間工事を行う箇所についても、完全な通行止めにはせず、日中は普通車両が通行できるように対応します。

〇夜間工事を行う箇所は横断できるか。

（回答）横断箇所については、鉄板等を敷いて通行できるよう対応します。また、必要に応じて、その他の箇所にも鉄板を敷くなどの対応を行います。

工事説明会の様子(大平下区)

【問合せ先】
担　当：（公財）宮城県環境事業公社　企画調整部
電　話：（０２２）３４３－２８７７　E-mail：miya－kan@aioros.ocn.ne.jp

「クリーンプラザみやぎ」でのイベント報告

「TOYOTA GR Rally Challenge 2026 Cup in 利府」と「利府ラリー2026」が開催されました

令和８年１０月１１日（日）、「TOYOTA GR Rally Challenge 2026 Cup in 利府」（以下「ラリチャレ」という。）と「利府ラリー2026」が、晴天に恵まれ汗ばむほどの陽気の中で開催されました。クリーンプラザみやぎでは、切土場と第1埋立地がラリー競技会場として初めて使用され、切土場にはギャラリーステージも設置されました。

「ラリー」とは、２名（ドライバーとコ・ドライバー）で１台の車を使用して参加するモータースポーツで、閉鎖された競技コース区間を１台ずつ走行（１分おきにスタート）し、タイムを競うものです。
※コ・ドライバーとはラリーカーでドライバーの隣に座り、ペースノートを読み上げてドライバーにコースの情報を伝える役割の人です。

競技は、「ラリチャレ」が４３台、利府ラリーが３９台の計８２台で行われました。競技参加者の中には、タレントの哀川翔氏もおり、ギャラリーの注目を一身に集めていました。

当日は、グランディ21から公社まで、シャトルバス４台で計４６往復の運行を行い、老若男女を問わず、約1,000名のギャラリーにご来場いただきました。

幅が狭く、舗装されていないコースでありながら、それを感じさせないほどの迫力ある走りが繰り広げられ、ドライバーとコ・ドライバーの息の合った連携や、細やかな運転技術が際立ち、時には調整池に落ちそうになるスリリングな場面もあり、ギャラリーを魅了していました。

また、希望者には、ラリーコースと南亀山の展望台を案内しました。展望台からの眺めも好評を博し、競技の迫力とギャラリーの熱気に満ちた一日となりました。

ラリーコース位置図

ギャラリーステージ

ラリー競技様子(切土場)

シャトルバス

展望台案内

【問合せ先】
担　当：（公財）宮城県環境事業公社　企画調整部
電　話：（０２２）３４３－２８７７　E-mail：miya-kan@aioros.ocn.ne.jp